



キンコース・ジャパン株式会社

いつでも、どこでも、必要なドキュメントソリューションを必要なだけ。
キンコース・ジャパンは、ドキュメントに関するあらゆる要望を解決するオンデマンドソリューションプロバイダーとして社会に貢献している。

本社：東京都港区
設立：1991年12月24日
従業員数：900名（2014年6月現在）
URL：http://www.kinkos.co.jp/

（取材日：2014年6月）

POINT

キンコースでの
本格採用をきっかけに
グループ標準の暗号化ツールに選定

1

機密性の高いドキュメント保護を
エンドユーザへ意識させずに
確実に実現

2

確かなセキュリティレベルの
達成により
顧客との高い信頼関係を構築

3

情報保護に対する姿勢を示すために フルディスク暗号化の「秘文」を選択

キンコース・ジャパン株式会社は、組織体制の変化に伴って約200台のラップトップPCの暗号化ソリューションを再選定、その結果フルディスク暗号化を実現する「秘文」をアシストから調達しました。

課題

対策

効果

- 海外製暗号化ツールは稼動をサーバに依存していた
- 認証作業にユーザが混乱しがちだった
- 組織変更で新しい暗号化ツールを選定する必要が生じた

- サーバに依存しない安定したクライアントツールの導入
- ユーザにルールや操作を意識させない仕組みとしてのフルディスク暗号
- 今後の海外展開に対応できる多言語対応

- “目立たない”フルディスク暗号化が実現した
- 海外展開に際しても同一環境を提供できる土台が整った
- 情報保護に対する姿勢を訴求しやすくなった



秘文AE Full Disk Encryption

多彩な文書ソリューションを オンデマンドで提供

キンコーズは、コピーサービスを始めとして、総合ドキュメントソリューションを提供するプロバイダーである。コピーのみならず、ポスターやチラシの印刷、製本、3Dプリンティングなど関連サービスを多彩にラインナップし、全国規模で店舗を展開している。顧客も法人から個人までと非常に幅広い。

もともとは米国資本で、2005年にフェデックス キンコーズ・ジャパン株式会社となったが、2012年、コニカミノルタグループへ移行することになった。このタイミングで日本法人はキンコーズ・ジャパン株式会社へと商号変更し、ブランド名も「Kinko's」となっている。そうした中でも、長年かけて培われた豊富なオペレーションノウハウ、そして顧客に本当に必要なソリューションを提案できる創造性は盤石で、独自の競争力を発揮し続けている。

すべてのラップトップPCに搭載する 暗号化テクノロジーを再選定

同社では、店舗のほかに専任の担当者が企業を訪問して活動する法人営業部門がある。法人で取り扱うドキュメントは、決算資料、クライアント向けプレゼン資料、製品やサービスの概要説明書、官公庁向け申請書類など機密性の高いものが多く含まれる。そのため、セキュリティ対策は同社にとって最優先事項だ。営業担当者や同社経営幹部 約200名が持ち歩くラップトップPCも、当然セキュリティ対策対象だった。キンコーズ・ジャパン株式会社 マーケティング部 部長 猪田定樹氏はこう語る。



猪田定樹氏

猪田氏 高いレベルのセキュリティ対策は当社が果たすべきコーポレート・ガバナンスの一

環と認識しています。

前グループ時代から、グローバルでSOX関連法令に遵守する意味合いもあって、ラップトップPCには海外にあるサーバのアルゴリズムを用いるハードディスク暗号化ツールを導入していた。セキュリティは担保されたが、これは機能的に2つの点で問題を抱えていた。まず、認証をサーバに依存していたため、認証更新時にサーバがダウンしていると、ラップトップPCが利用できなくなった。また、OS認証の前に暗号化認証を行う2段階認証が必要で、しかも、その暗号化認証は英語のキー配列を前提としているため、日本のユーザは混乱しがちだった。

そうした中、同社のコニカミノルタグループへの所属移行が決定し、新たに暗号化ソリューションを選定しなおすことになった。

目立たずにフルディスク暗号化を 実現する「秘文」を選択

同社情報システム部門は、以下の5つの選定要件を掲げて市場の製品を比較検討することになった。

- ① フルディスク暗号化を実現する製品であること
エンドユーザのハードディスク利用は、ルールだけでは徹底できない。仕組みとしてフルディスクの暗号化機能が必要
- ② コニカミノルタグループで過去に利用実績を持っていること
すでに利用実績があれば、そこで得られた知見を活用することが可能
- ③ 多言語に対応していること
ビジネスの海外展開に備えて、英語、中国語、韓国語への対応が必要
- ④ 動作が安定していること
情報システム部門は少数精鋭主義であるため、障害対応に時間を割けない
- ⑤ OSと暗号化ツールの認証が一体化されていること
暗号化をユーザに意識させずに、また目につかない形で実現したい

こうした観点から浮上したのが、機密情報漏洩防止ソリューション「秘文」の秘文AE Full Disk Encryptionだった。アシストはコニカミノルタグループの推薦もあってソリューションプ

ロバイダーに選定され、機能検証プロセスに進んだ。そして同社で調達するラップトップPC環境でまったく問題なく動作したことから、2012年6月、正式に導入を決定した。

情報保護に対する姿勢を 示す証拠として「秘文」が貢献

導入作業は1か月半で完了し、2012年7月末から秘文の実稼働が始まった。その後も今日まで安定的に動作を続けている。エンドユーザに特別な操作を行う必要はないため、日常でディスク暗号化を意識することはほとんどないという。



小方圭介氏

キンコーズ・ジャパン株式会社 マーケティング部 コーディネーター 小方圭介氏は、秘文導入の結果を次のように語る。

小方氏 当社では機密性の高い顧客の情報を扱うため、何よりも信頼いただくことが重要です。ラップトップPCの暗号化は、情報保護に対する当社の姿勢を示すのに役立っています。

今後の計画についても明確だ。キンコーズ・ジャパン株式会社 情報システム部 部長 中嶋隆之氏はこう語る。



中嶋隆之氏

中嶋氏 分析サーバなどを導入して、ユーザの利用状況に応じた情報のグレーディングやアーカイブを進めていきたいと考えています。

キンコーズ・ジャパンは「秘文」導入により、確かなセキュリティレベル達成と法人顧客との高い信頼関係構築に成功している。